

## 実践発表

### 学校での学びと社会・生き方をつなげる 教育の充実

～思考力・自律心・協働力を育む

体験活動の実践を通して～

沖縄県西原町立西原中学校 教諭 大川 晃  
(当時)

#### 1 提案趣旨

新学習指導要領に示されている「資質・能力」を身につけるために、学校や日常生活における諸問題の解決やこれからの生き方に繋がる新しい発見、行事や学級活動において何かを共に達成する楽しさを体験する活動を行うことで、「思考力」・「自律心」・「協働力」そして「自己肯定感」を育成し、主体的に実践できる生徒の育成を目指したい。

#### 2 実践の概要

題材名：

「地域を盛り上げる包装紙デザインを考えよう」  
(3学年)

ねらい：

本題材は新学習指導要領美術の第3学年のA表現イ(ウ)伝える、使うなどの目的や機能を考え、使う目的や条件などを基に、使用する者の立場などから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどを表現させる目的で設定した。

昨年度、体験学習を行って、地域との連携も行い、職業の大変さや楽しさを体験している。今年度はパッケージデザインの役割を理解すると共に、実際に地域の企業で使われる包装紙のデザインを行うことで、企業や地域の魅力に気づかせ、それを活かそうとする力を身につけさせる。

デザインした包装紙を企業(地域の洋菓子店やパン屋など)で使っていただく事で、学校での学びを地域へ発信し、校内だけでなく地域でも作品を発表する場を設ける。

##### (1) 実施方法

- ・地域の5店舗へ協力をお願いする。(地域コーディネーターも協力)
- ・各クラスに1店舗割り当て、4名1グループに分かれてデザインする。
- ・出来上がったデザインから、各店舗にベストデザインを選んでもらう。
- ・選ばれたデザインを町内の印刷会社へデータ入稿し、納品された包装紙を生徒と一緒に店舗へ納品する。

#### (2) 指導計画 (全6時間)

	主な活動内容	指導上の留意点
1	・パッケージの働きを知る ・包装紙を鑑賞し工夫を見つける ・制作はグループで	・包装紙から中身がどのようなものであるかを想像させ、工夫を感じ取れるようにする。
2	・お店の魅力や要望をかなえるデザインを考える(個人) ・グループで意見交換を行い、デザインを練り上げる(グループ)	・店舗の写真や商品の写真などを提示。 ・幅広い使い方ができるように繰り返しのデザインなどを意識させる。
3 ↳ 5	・デザインを決定し、制作する ・プレゼンテーション資料を作る	・役割分担を行い効率よく制作。 ・コンセプトやセールスポイントなどをまとめさせる。
6	・プレゼンテーションを行う ・個人で投票し、総合1位となったグループのデザインをベストデザイン賞とし、印刷を行う	・大型テレビでデザインの細かい部分の工夫やセールスポイントなどを伝えるようにする。 ・店舗にとってよいものを選ぶ。
時間外	・印刷した包装紙をグループ代表者と店舗へ納品する	・納品の際に工夫などを店舗へ伝え、活用していただけるようお願いをする。

#### 3 成果と課題

##### (1) 成果

- ・今年度は、職場体験学習など大きな体験学習はできなかったが、学校での学びの中で、地域・社会と共に進めるキャリア教育の取り組みや美術の授業や学級活動を通じたキャリア教育の実践での体験学習を通して、「思考力」「自律心」「協働力」を育成することができた。
- ・今年度は昨年度に比べ、各教科でグループ活動や生徒主体の活動が多く見られるようになった。また他を思いやる発言や行動の場面も多く見られるようになり、生徒は自己肯定感が高まってきている。

##### (2) 課題

- ・生徒の活動間で生徒を思考させる教師の発問の工夫や、日頃の授業での「生徒理解」をしっかり行う必要がある。
- ・自己や集団の問題として正面から向き合い改善・解消を図ろうとする生徒の熱意が足りないように感じた。